

1999年3月17日

[参考資料]

報道関係者各位

[リリース 日本語訳]

ノバルティス 1998年度純利益16%増加

3月16日、スイス・バーゼル市

	1998年		1997年		前年比
	百万スイフラン	億円	百万スイフラン	億円	
売り上げ	31,702	28,595	31,180	26,260	2%
営業利益	7,356	6,635	6,783	5,713	8%
純利益	6,064	5,470	5,211	4,389	16%
1株当たり利益 (スイフラン)	89		76		
1株当たり配当金 (スイフラン)	29 *		25		

* 株主総会にて提案予定

換算レート: 1スイフラン = 90.20円

換算レート: 1スイフラン = 84.22円

設立2年目を迎えたノバルティスは、ヘルスケアとコンシューマーヘルスにおける利益率の向上を受けて、1998年度の営業利益をさらに8%伸ばす好成績を収めたと発表しました。純利益は16%増加し、61億スイフラン(約5,470億円)となりました。これには合併の相乗効果による経費削減からくる生産性向上、売り上げ量の増加、および財務純利益の大幅な増加が貢献しています。ノバルティスグループは先に、1998年の売り上げを317億スイフラン(約2兆8,600億円)、現地通貨で5%の増加、スイスフランで2%の増加と発表しています。

来月ノバルティス取締役会会長の座を退くアレックス・クラワーは、「昨年の困難な市場状況にもかかわらず、ノバルティスは力強い成長を遂げました。次の株主総会で、29スイフランの配当金を提案する予定です。これは昨年比べて16%の増加です」と語りました。

次期会長兼社長のダニエル・バセラは、「1998年は合併の計画がすべて遂行された年でした。年度末までに、合併による経費削減3年計画の目標のうち89%を達成しました。私たちは買収や売却を通して、ライフサイエンスへ事業を集中させてきました。新しくコンシューマーヘルス部門を設立するなど、大幅な組織改革も行いました。未来を見据えた新技術への大型投資もしました。急速に変化するビジネス環境において、これからの私たちの課題はますます難しいものとなるでしょう。しかし、合併の成功により、私たちにはビジネスを進めていく上で重要な強固な基礎と群を抜く競争力が備わりました」と述べています。

売り上げ - ヘルスケアが牽引力となる

1998年度のグループ総売り上げは317億スイスフラン(約2兆8,600億円)で、現地通貨で5%の増加でした。ジェネリック、種子、チバビジョンで顕著な売り上げ増加がありました。5%の売り上げ増加の内訳は、売り上げ量の増加が4%、価格上昇が1%でした。主要通貨に対するスイスフラン高のため、スイスフランによる売り上げ増は2%にとどまりました。

ヘルスケア (現地通貨で7%増加)

医薬品は6%増加しました。その成長に大きく貢献した製品は、骨吸収抑制剤「アレディア」(61%増)、持続性ソマトスタチンアナログ製剤「サンドスタチン」(38%増)、高血圧症治療薬「チバセン」(27%増)、ぜん息薬「フォラジール」(27%増)、骨粗鬆症治療薬「ミアカルシック」(21%増)でした。最も売り上げの大きい製品である免疫抑制剤「サンディミュン/ネオーラル」は、移植領域における第一選択薬としての地位を維持し、18億スイスフラン(5%増)を越える売り上げを達成しました。高血圧症治療薬の新しい分類に属する「ディオバン」および「コディオバン」は、あわせて4億900万スイスフランという、記録的な年間売り上げを達成しました。抗真菌薬のマーケット・リーダーである「ラミシール」(5%増)は、日本と米国において飛躍的にマーケットシェアを伸ばしました。高コレステロール血症治療薬の「レスコール/ローコール」は、営業努力と日本での上市によって、激しい競合に打ち勝ち、全期間を通じて1%の伸びを維持しました。移植における急性拒絶反応に対する新しい免疫抑制剤「シムレクト」は、米国におけるすべての主要な移植医療機関で大変早く採用されました。アルツハイマー病治療薬「エクセロン」は、現在44ヶ国で承認され、28ヶ国で臨床の現場で用いられており、間もなく米国でも承認される予定です。一方、持続性ソマトスタチンアナログ製剤「サンドスタチンLAR」は11月に米国で承認されました。地域別では、年間を通じてヨーロッパ地域での業績が特に優れていました。日本は、経済の継続的な低迷と医療費抑制政策によって、医薬品市場全体が縮小し、非常に厳しい状況でしたが、「ローコール」の上市と「ラミシール錠」の成功によって、部分的に売り上げの減少がカバーされました。米国での売り上げは全般的に堅調に推移しました。

ジェネリックは13%増でした。セファロスポリンとその他のバルク製品の素晴らしい業績により著しく伸びました。市販用の後発品は、ドイツでは厳しい市場環境にみまわれましたが、東ヨーロッパとアジアならびにラテンアメリカで堅実な成長をみました。米国では引き続き堅調に推移しました。HMRのフランクフルトの醗酵用工場の取得は11月に完了し、将来の貢献が期待されています。

チバビジョンは9%増加しました。第4四半期の売り上げが目覚しく、通年成績を大きく増加させました。眼科用医薬品では、非ステロイド性抗炎症剤「ボルタレンオフタ」と、ジェル状人工涙液「ビスコティアーズ」が牽引力となりました。オプティックスは、頻回交換型コンタクトレンズ「フォーカス」シリーズの好調に支えられ、堅調に推移しました。革新的技術から生まれた1日使い捨てソフトコンタクトレンズ「フォーカス デイリーズ」は、ヨーロッパの主要市場でリーダー的地位を獲得しました。連続装用コンタクトレンズ「フォーカス ナイト&デイ」が世界に先駆けてメキシコで上市されました。

アグリビジネス (現地通貨で4%増)

農業は2%増加しました。殺虫剤、グリーンビジネス関連剤と種子処理剤は好調に推移しましたが、除草剤は、特に米国で農業資材の価格が低迷し、価格競争が激しく、売上げが伸び悩みました。目覚ましい伸びが見られたのは、ラテンアメリカ、特にブラジルと、アジア太平洋地域でした。ヨーロッパではベネルックス3国と南ヨーロッパにおいては好成績を納めましたが、殺菌剤の市場競争が年初に激化し、全体としては大きな伸びは見られませんでした。顕著な売上げ増加を見せた主な製品は、除草剤「トピック」、殺菌剤「リドミルゴールド」、殺虫剤「ベルティメック」でした。無灌漑栽培トウモロコシの種子処理用殺虫剤「クルーザー」は、南アフリカで8月に認可され、急速に売上げを伸ばしました。

種子は12%増加しました。この大きな伸びには、米国におけるBtコーン（遺伝子組換えトウモロコシ）に対する需要の高まりが寄与しています。ノバルティス種子の高い品質レベルにより、ヨーロッパのヒマワリ、北大西洋自由貿易地域（NAFTA）の大豆が大きく売上げを伸ばしました。テンサイの売上げは、ヨーロッパにおいて作付け面積が減少したためマイナス影響を受けました。野菜と花卉は、すべての主要市場でさらに加速度を増して伸びています。

動物薬は5%増加しました。ノミおよび内部寄生虫駆除薬「センチネル」は、米国でほぼ3倍に伸び、ペット用寄生虫駆除薬市場におけるノバルティスの地位を確実なものとししました。

6ヶ月有効な猫用ノミ駆除薬「プログラム注射液」が米国、ヨーロッパ、日本、オーストラリアで上市され、ノミ駆除薬の分野でも動物薬セクターは、強固な地盤を固めました。犬の分離不安症治療薬「クロミカルム」は、ヨーロッパで上市され、米国で承認されました。家畜用動物薬もラテンアメリカおよび、ヤング社を統合したオーストラリアとニュージーランドで好成績を納めました。

コンシューマーヘルス (現地通貨で3%増)

栄養食品は6%増加しました。乳幼児用栄養食品は、有機食品の「テnderハーベスト」シリーズが、米国で力強く伸びており、またラテンアメリカでは市場の伸びを上回る増加率を達成しました。医療用栄養食品では、「リソース」と、ヘルスケア・フードサービスが順調に展開しています。

一般薬は2%減でした。鎮痒剤「フェニスティル（Fenistil）」、静脈瘤治療薬（下腿）「ベノルトン（Venoruton）」ならびに、禁煙補助薬「ニコチネル」の売上げ増が報告されました。ヨーロッパでの伸びは満足できるもので、市場程度の増加を得ました。北米では、主要製品のカテゴリーではシェアを維持しましたが、売上げの増加は頭打ちとならざるを得ませんでした。これは、小売り業界の急激な統合により、一時的な在庫調整が行われたことと、今冬の感冒の流行が少なかったためです。日本では、11月に一般薬ビジネスに参入するため、花王株式会社との調印がなされました。

営業利益 - ヘルスケアとコンシューマーヘルスで利益増大

1998年の営業利益は、相乗効果による経費節減と、主要製品への絞り込みが功を奏し、1997年の21.8%から23.2%に増えました。マーケティングと流通経費は、売り上げの伸びをやや下回りました。グループ全体で研究開発への投資は、総売り上げの11.8%というレベルを維持しました。医薬品では、研究開発費は売り上げの18.0%で、これは医薬品業界のトップレベルに位置します。合併による相乗効果の結果として、間接部門の経費と人員は大幅に削減されました。

ヘルスケアでは、29.8%の売り上げ利益率（1997年は27.9%）と連携して、営業利益が10%増加し、52億スイフラン（約4,690億円）となりました。医薬品における利益率は上昇しました。これは主に間接部門の経費削減とコストダウンによるものです。さらにカイロン社の一部を売却した利益もこれに貢献しています。ノバルティスはカイロン社の少数株主です。ジェネリックは、セファロスポリンビジネスの顕著な業績と、米国における小売りジェネリックでの戦略変更により、営業利益が著しい成長を遂げました。チバビジョンの営業利益は、研究開発への投資の増加と、「フォーカス・デイリーズ」の米国での上市コストが影響して、前年をやや下回りました。

アグリビジネスの営業利益は、19.9%から18.1%へと減少しました。農薬は、価格競争と、ロシアと東ヨーロッパにおける売掛債権に対する貸倒引当金の繰入れ増加の影響を受けました。種子の利益は、新技術の研究開発への投資と、知的財産を保護するための訴訟費により相殺されました。動物薬では厳しい経費節減策が利益率改善に貢献しました。

コンシューマーヘルスの営業利益率は、9.2%から12.6%へと増加しました。これは主に米国のガーバー社で組織改革を行い経費削減に成功したことによります。ガーバーの改革により、栄養食品の営業利益は6.9%から11.1%へと改善されました。一般薬セクターと栄養食品部門の統合に要した経費は9,600万スイフラン（約86億6,000万円）で、これは非中核ビジネスを売却することで相殺されました。

コーポレートとその他の経費：コーポレートとカントリー・マネジメントの経費は1998年には8%削減されました。受取り保険と年金費用軽減による収益は、約1億4,000万スイフラン（約126億円）にのぼるブラジル、ロシア、ウクライナの売掛債権の引当金増加により相殺されました。

純利益 - 財務収益の大幅な増加

営業利益の増加と好調な財務収益により、純利益が16%増加し、61億スイフランという記録的な成果を上げました。これにより利益率が16.7%から19.1%へと2.4%向上しました。

財務収益

財務費用の増加が8,600万スイフランにとどまった反面、より有利な投資先へのポートフォリオの変更、平均をやや上回る流動資金、キャピタルゲインの増加、オプション取引と為替予約による収益などから、財務収入は6億5,200万スイフランでした。7,200万スイフラン増加した為替差損を差し引いたネット財務収益は、5億スイフラン増加して6億1,400万スイ

スフランとなりました。リスク調整ベースで、ノバルティスは平均を2.57%上回る成果をあげました。全体としてグループの財務部門は6.6%の投資利益率を達成しました。

100億スイスフランを越す純流動性

営業活動からのキャッシュフローは26%、12億スイスフラン増加し、59億スイスフランとなりました。有形固定資産への投資は16億スイスフランと安定したレベルに保たれました。フリーキャッシュフローは2倍の26億スイスフランとなりました。グループの財務力の強さは、19億スイスフラン増加し103億スイスフランとなった純流動性に反映されています。自己資本は2億スイスフラン増加し、借入債務は主に返済により25億スイスフラン減少しました。年度末の負債・資本比率はグループの堅実なバランスシートを基礎に、1997年の0.41:1から0.28:1へと向上しました。

統合はほぼ完了

ノバルティスでは現在、合併による相乗効果が大きく現れています。1998年末には、3年計画の経費削減目標の89%に相当する17億7,000万スイスフランを達成しました。これは、1998年の目標80%を大きく上回ります。1998年末現在までの合併に関連する人員削減は11,690人で、これは目標の97%に当たります。主に医薬品において主要製品の営業人員補強などのための新規雇用も行われました。

1998年 - 成長重視、組織改善、ライフサイエンスに的を絞った戦略

ノバルティスは、ライフサイエンスビジネスにおける地位をさらに強固なものとし、継続的に利益をもたらす成長を基礎とするために、社内外において様々な対策を取りました。

ヘルスケアにおいては、研究開発分野における提携契約が多く結ばれました。医薬品では生産性を改善するためのプログラムがスタートしました。開発の組織統合が完了し、新しい医薬品を市場へ導入する期間の短縮にさらに拍車がかかりました。

アグリビジネスでは、韓国においてソウルシードとオリエンタルケミカルズ農薬を買収したことにより、市場における地位が強化されました。農薬の組織改革が実施され、「顧客により近く」という目標のもとに5つの地域制が確立され、それぞれの地域内の戦略とマーケティングに責任を持つことにしました。種子では、提携により、従来のビジネスが強化され、製品群の拡大が可能となりました。

8月、ノバルティスは一般薬と栄養食品を統合し、コンシューマーヘルスを設立すると発表しました。同時に、13億スイスフラン(約1,200億円)に相当する栄養食品の非中核ビジネスの売却計画も発表しました。スイスのスナック菓子会社ローランド社、米国の医薬品流通業レッドライン社を売却し、計画は順調に進行中です。年末にはイタリアの無糖食品の会社を売却し、スウェーデンのスナック菓子OLW社におけるノバルティス資本の引き上げに関する契約を締結しました。非中核ビジネスで未だ売却が済んで

いないのは、ワサ社とエデン社の2社のみとなりました。合併は、経費削減と成長の両面に大きな相乗効果を生みつつあります。今後2・3年の間に、人員削減と営業人員の最適化により年間

7,000万スイフランの相乗効果が見込まれています。成長の相乗効果は、今後の3・4年の間に、従来の製品を新しい分野にてこ入れし売り上げ拡大を達成することにより実現化します。

1999年の見通し - 営業利益のさらなる改善

新しい医薬品の導入とマーケティング・営業への投資により、ジェネリックからの競争に打ち勝つ売り上げ展開が期待できます。チバビジョンの眼科用医薬品と頻回交換レンズ、バイオケミ社の抗生物質製剤も引き続き好調を続けるものと見込まれます。アグリビジネスのビジネス環境、特にブラジルとロシア、および米国における除草剤ビジネス、には厳しいものがあります。しかし、新製品、問題解決策、幅の広い製品群で、少なくとも市場の展開と同じペースで推移できるものと予測しています。コンシューマーヘルスは一般薬と栄養食品のビジネスの統合、経費削減と成長機会の獲得に専念します。非中核ビジネスの売却は年の半ばには終了する予定です。

ノバルティスグループは業務の改善を重ね、成長の可能性のある分野への投資を続けていきます。それが予測される売り上げ量の増加とあいまって、さらに営業利益増加への基礎となるとでしょう。

ノバルティス業績結果発表会をインターネットで見る

1998年度の年次報告書が本日ロンドンで発表されます。この模様とメディアキットがノバルティスのホームページ www.novartis.com で見られます。今後の業績発表予定は次の通りです。

1999年 4月21日	第1四半期売り上げ発表
1999年 7月15日	上半期売り上げ発表
1999年 8月26日	上半期業績発表
1999年10月21日	第3四半期売り上げ発表
2000年 2月17日	1999年通年売り上げ発表

ノバルティスは、ヘルスケア、アグリビジネス、コンシューマーヘルス（一般薬、栄養食品）を事業の柱とする、ライフサイエンスにおける世界的リーダーです。1998年度ノバルティスグループの売り上げは317億スイフラン（約2兆8,600億円）で、そのうちヘルスケアは175億スイフラン、アグリビジネスは84億スイフラン、コンシューマーヘルスは58億スイフランでした。研究開発への投資は年間36億スイフランを越えます。スイス・バーゼルに本拠を置くノバルティスは、約8万5,000人の社員を擁し、世界100カ国以上で事業を行っています。

お問い合わせ先

ノバルティス ジャパン株式会社

〒105 - 6137 東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル 7階
広報担当・北原 文代 電話：03-5403-1485 ファクシミリ: 03-5403-1477

ノバルティス ファーマ株式会社

〒106 - 8618 東京都港区西麻布4-17-30
広報担当・渡辺 邦男 電話：03-3797-8027 ファクシミリ: 03-3797-4367

ノバルティス アグロ株式会社

〒105-6133 東京都港区浜松町2-4-1世界貿易センタービル 3、34階
広報担当・秋山 巍人 電話：03-3435-5258 ファクシミリ: 03-3435-4010

チバビジョン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー 13階
広報担当・清野 美智恵 電話：03-5461-1301 ファクシミリ: 03-5461-1396

ノバルティス シート株式会社

〒289-2304 千葉県香取郡多古町高津原向ノ台401-2
広報担当・岩崎 義和 電話：0479-75-3111 ファクシミリ: 0479-75-3122

1998年売り上げ

	1998年		1997年		前年比 %	
	百万スイフラン	億円	百万スイフラン	億円	スイフラン	現地通貨
ヘルスケア	17,535	15,817	16,987	14,306	3%	7%
医薬品	14,501	13,080	14,112	11,885	3%	6%
ジェネリック	1,529	1,379	1,452	1,223	5%	13%
チバビジョン	1,505	1,358	1,423	1,198	6%	9%
アグリビジネス	8,379	7,558	8,327	7,013	1%	4%
農薬	6,021	5,431	6,088	5,127	-1%	2%
種子	1,457	1,314	1,346	1,134	8%	12%
動物薬	901	813	893	752	1%	5%
コンシューマーヘルス	5,289	4,771	5,255	4,426	1%	3%
栄養食品	3,598	3,245	3,500	2,948	3%	6%
一般薬	1,691	1,525	1,755	1,478	-4%	-2%
売却したコンシューマーヘルスビジネス	499	450	611	515		
合計	31,702	28,595	31,180	26,260	2%	5%

連結決算結果

	1998年		1997年		前年比
	百万スイフラン	億円	百万スイフラン	億円	%
売り上げ	31,702	28,595	31,180	26,260	2%
販売コスト	-10,052	-9,067	-9,847	-8,293	2%
グロス収益	21,650	19,528	21,333	17,967	1%
マーケティング	-8,790	-7,929	-8,665	-7,298	1%
研究開発	-3,725	-3,360	-3,693	-3,110	1%
管理費	-1,779	-1,605	-2,192	-1,846	-19%
営業利益	7,356	6,635	6,783	5,713	8%
営業外収入 経費	614	554	120	101	412%
税引前利益	7,970	7,189	6,903	5,814	15%
税	-1,880	-1,696	-1,674	-1,410	12%
少数株主持ち分	-26	-23	-18	-15	
純益	6,064	5,470	5,211	4,389	16%